



# 漕代小学校だより

松阪市立漕代小学校 令和7年11月28日(金) NO.21



ホームページ:<http://www.koishirosho.com>

E-mail:[koishiro2es@matusaka.ed.jp](mailto:koishiro2es@matusaka.ed.jp)

校長 橋本恵美子

## 令和7年度全国学力学習状況調査について

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した学力学習状況調査の調査結果がまとめました。今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一侧面ですが、この調査結果を有効に活用して、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んで参ります。

今年度の結果から分かる子どもたちの頑張りは、私たち教員にとって、うれしく、励みになるものでした。

### 漕代小学校の成績

#### ○ 国語・算数とも全国・県・松阪市の平均を上回った。

・三重県平均を **国語 20ポイント 算数 18ポイント 理科 12ポイント** 上回る。

平均正答率	本校	松阪市	三重県	全国
国語	86.0	67.1	66.0	66.8
算数	75.0	60.6	57.0	58.0
理科	68.0	55.2	56.0	57.1



#### ○ 国語について

・学習指導要領の内容ごとに見てみると、「知識及び技能」が基礎学力、「思考力、判断力、表現力等」が発展的学力と考えた場合、発展的な学力も定着しています。本校の児童は、[人の話を聞きながら自分の考えと比べ、そして、自分の考えを言葉で説明する力がついていることがわかります。](#)

学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
	本校	三重県	全国
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	87.5	78.4	76.9
(2) 情報の扱い方に関する事項	83.3	62.6	63.1
(3) 我が国の言語文化に関する事項	100	79.7	81.2
思考力、判断力、表現力等			
A 話すこと・聞くこと	91.7	65.5	66.3
B 書くこと	86.1	68.7	69.5
C 読むこと	77.1	56.0	57.5

#### ○ 算数について

・どの項目も、全国正答率よりかなり上回っています。どの内容においても、確実学力の確実な定着がみられます。松阪市においては、[図形及び、変化と関係が、継続的な課題にあげられました。](#)



苦手だった、図形の問題が解けました。

学習指導要領の内容	本校	三重県	全国
数と計算	79.2	61.6	62.3
図形	79.2	54.7	56.2
変化と関係	79.2	53.0	54.8
データの活用	80.6	54.7	57.5

#### ○ 理科について

理科についても、記述式問題の正答率が、三重県 29.0%、全国 29.9%に対し、本校の正答率は 41.7%とかなり高く、しっかりと内容を理解していることが分かります。

学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
	本校	三重県	全国
「エネルギー」を柱とする領域	50.0	45.8	46.7
「粒子」を柱とする領域	59.7	50.1	51.4
「生命」を柱とする領域	66.7	49.8	52.0
「地球」を柱とする領域	77.8	65.7	66.7

#### 児童質問紙より

児童質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や教育活動などへの問い合わせがあります。

#### ○ 規範意識が高い一方、自己肯定感、夢に向かう力、行動力は控えめ。

「自分には、よいところがある」と思える子どもの割合が例年低いことが課題でしたが、少しずつ改善傾向があります。自己肯定感が高くなりつつあります。また、将来の夢や目標を持っている児童が多くなりました。この点も大きく変化があったところです。中には、まだ将来の夢や目標を持っていない児童もいますが、探究学習やいろいろな活動を通して、地域や人のことに関心を持つようになると社会の仕組みを自分事としてとらえることができるようになります。将来のキャリアビジョンも見えてくることと思います。

学校では、地域探究学習に主体的に活動する中で、「失敗を恐れないで挑戦すること」「自分でやると決めたことは、やり遂げること」に取り組み、「自分を振り返り、未来の自分の生き方に向かう力」の育成を図っていきます。

質問事項	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
自分には、よいところがあると思いますか	本校	16.7	75.0	0.0
	三重県	45.2	39.9	10.3
	全国	47.3	39.6	9.1
将来の夢や目標を持っていますか	本校	75.0	0.0	16.7
	三重県	60.3	22.1	10.2
	全国	60.7	22.4	10.3
いじめはどんな理由があつてもいけないことだと思いますか	本校	83.3	16.7	0.0
	三重県	83.3	14.3	1.8
	全国	81.4	15.8	2.1
人が困っているときは進んで助けていますか	本校	33.3	58.3	0.0
	三重県	50.0	44.0	5.0
	全国	49.2	44.5	5.4

今後も保護者の皆様とともに育んでまいります。

- 引き続き、「早寝、早起き」等の基本的な生活習慣の確立にご協力ください。  
「朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」の項目は全国 平均を上回っています。基本的な生活習慣の確立は、児童の「がんばる 力」の土台となります。
- 子どもたちをたくさん褒めて、認めてやってください。  
自己肯定感は学力テストの正答率に影響しています。自己肯定感を高めることが、学力向上に向かう手立ての一つです。「自分には良いところがある」と思える児童がもっともっと増えるといいなあと思います。
- 平日や休日の家庭学習の時間を増やしていきましょう。  
家庭学習の習慣をつけ、学習量を確保することが大切です。ある程度の勉強量が確保されると学力はのびていきます。学校でも、家庭学習の仕方など、子どもたちに伝えていきますので、ご家庭でも「10分×学年+10分」は机に向かって勉強する環境を引き続き整えてください。そして、はげまして勉強を見とどけてやってください。
- 家でも本を読む環境づくりをお願いします。